

<金標準、14日ウォーシュ FRB 議長の議会証言に注目・・・>



(出所：オアシス)

イラン前最高指導者の故アリ・ハメネイ師の国葬が4日から9日まで行われる最中に、イラン革命防衛隊は2日間連続でホルムズ海峡を航行する3隻のタンカーにミサイル攻撃を実施し、米国軍もイランの軍事施設など170カ所以上の報復攻撃を2日間実施し、トランプ大統領は「停戦は終わった」と発言するなど、リスク逃避の動きを強めている。しかし週末にはイランから協議の伝達があったと発言するなど、仲介国であるカタールは協議再開に向けて努力を行っている。また今週14日にはウォーシュ FRB 議長が、下院議会・金融サービス委員会で半期金融政策報告の議会証言を行う予定であり、また消費者物価指数（CPI）の発表と合わせてインフレ低下を示唆する様であれば、利上げ観測の低下を受け、金価格は売られ過ぎた価格帯からの離脱の値動きを示す可能性は高まると思える。

特に金標準先物は、21000円で下げ渋りながら戻り高値である22247円を上回る動きを示す様であれば、23000円へ向けて巻き戻しの値動きを強めて来ると思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが上昇し、シグナルも上昇している。RCIは短期が下げるも、長期は上昇している。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小し、日足がレンジ離脱を示す22190円を超える様であれば、底値確認の値動きに変化すると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,275,000 円(2026 年 7 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 5 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 95,040 円(2026 年 7 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>